



MID-PACIFIC

Innovators. Artists. Individuals.

MIDDLE AND HIGH SCHOOL FAMILY HANDBOOK

(Abridged Translated Version)

Japanese

2445 Ka'ala Street • Honolulu, Hawai'i 96822

中高生およびそのご家族のための手引書

ファミリー ハンドブック

(要約翻訳バージョン)

すべての生徒および保護者/後見人は、ファミリー ハンドブックをお読みいただく必要があります。Mid-Pacific への生徒の入学において、保護者/後見人および生徒は、手引書全体を読み、本校の使命、方針、およびビジョンをサポートすることに合意することが指示されています。

お子様の写真が本校の年鑑、ウェブサイト、または入学案内書等に掲載されることがあります。お子様の写真の掲載をご希望されない場合は、書面にて本校に通知していただきますようお願いいたします。

管轄権受諾宣言

本ハンドブック記載の規則の遵守/履行の管轄権は、生徒が校内にいる場合、校内外での学校行事（プロム、晩さん会、体育競技など）に参加している場合、学校行事の付近（本校イベントの際の駐車場など）にいる場合、および学校主催の旅行（スポーツ、フラダンス、バンド、島外への旅行）に参加している間に生徒に適用されます。この管轄権は、近隣駐車場（Armstrong、Parker Place など）や本校に近接する区域、Kamane le Park および University of Hawaii を含め、本校の枠組みを超えて拡大されます。本校の規律は、ふるまいが本校の正式な規律の権威、生徒またはスタッフの安全性、本校内での混乱、または Mid-Pacific の評判を損なうことが合理的に予測される場合、学校内でのすべてのふるまいに適用されます。これには、あらゆる経緯の通信（インターネット、電話、テキスト メッセージ）など、Mid-Pacific コミュニティに被害を与える、または名誉をけがす可能性のあるあらゆる形態の手段が含まれます。

出席

出席受付電話：973-5025

Mid-Pacific の生徒は速やかにすべてのホームルームおよび授業セッション、チャペルサービス、活動期間、集会、およびその他指定されたイベントに出席する必要があります。お子様の遅刻について、保護者/後見人は、授業の担当教師ではなく、**学年主任**に通知する必要があります。

出席状況は、Damon Hall 受付担当者および学年主任により 1 日に複数回確認されます。欠席が正式に許可されるためには、妥当な理由が必要です。電話連絡がない場合は、欠席が公式に許可されていないとみなします。

中学校:

生徒が欠席する場合は、生徒の保護者/後見人が欠席日の朝 7:30 a.m. までに 受付担当者 に電話する必要があります (毎日)。すべての生徒は、毎日ホームルームに出席する必要があります。ただし、生徒が 7:30 a.m. に Bakken Auditorium for Chapel に出席する水曜日は除外します。ホームルーム/スタディ ホール/チャペルは必須です。遅刻した生徒は、 **Middle School Office** に報告しなければなりません。

高校:

生徒が欠席する場合は、生徒の保護者/後見人が欠席日の朝 8:30 a.m. までに Damon Hall 受付担当者に報告する必要があります (毎日)。

生徒が当日の 1 限の授業に遅刻する場合は、 **Damon Hall** にある出席受付に報告しなければなりません。

遅刻

各授業や活動時には時間厳守が求められます。日常的な交通渋滞、寝坊、あるいは家族の事情による遅延は、学校への遅刻理由としては許可されません。教育のための時間を最大に確保するため、生徒は、学校および各授業時間に時間通りに到着する必要があります。

生徒が登校時間に時間通りに到着できない場合は、保護者が Attendance Office (808) 973-5025 に通知してください。遅刻回数が多い場合、および正式に許可されない遅刻については、生徒の今後の活躍を支援するため、生徒および保護者との連携を目的として学部主任に通知します。

授業または必要な活動の開始後に教室に入る生徒は、遅刻とみなされます。遅刻し、教師、看護師、学年主任、または管理者からの再承認が得られていない生徒は、正式に許可されていないものとみなされます。教師は、正式に許可されない遅刻に起因して受講できなかった授業や教室資料 (クイズやテストを含む) については、補講等を行う義務はありません。授業期間の 1/2 以上を受講しなかった場合は、正式に許可されない欠席となります。

欠席

学部主任が特別に許可しない限り、正式に許可された欠席を含め、学校を欠席する生徒は、欠席日中に一切の学校活動 (リハーサル、練習、パフォーマンス、ゲーム、ダンス、またはその他すべての正課併行活動府を含む) に出席または参加することはできません。学校に出席しない生徒は、校内に立ち入ることはできません。

欠席した生徒は、対応できなかった課題を完了するために復帰時に教師に連絡する必要があります。また、生徒は、課題について、myPueo を確認してください。欠席期間が生徒の進捗状況にどのように影響を与えるかを判断するため、長期休暇を計画する際に

は、保護者は、お子様の学部主任との相談を行うものとします。

正式に許可された欠席

生徒の業績に支障をきたす可能性があるため、本校では、緊急時や病気時を除き、何らかの理由で学校を休ませないよう取り組んでいます。学年主任は、欠席が正式に許可されるか否かを決定します。正式に許可される欠席は、緊急度、教育的な価値、そのイベントの重要性、生徒の学術的な状況、事前要求の履歴、および学習環境への影響に関連して検証されます。

欠席許可を要請する生徒は、学年主任からの事前承認を取得しなければなりません。学校書式による欠席届に記入してください。欠席の日付の 2 週間前までに、生徒の保護者/後見人の書面または口頭による欠席届が必要です。非常または緊急時の場合は、この要件が免除されます。正式に許可される欠席か否かの決定は、通常、欠席申請の 2 週間よりも前には行われません。

正式に欠席が許可された生徒は、欠席により対応できなかった課題について myPueo を確認する責任を負います。また、復帰時に対応できなかった作業を教師に確認し、できる限り早急に課題を完了することも生徒の責任です。

正式に許可されていない欠席

授業期間の 1/2 以上の欠席を含め、本校が判断する許容される原因なく授業を欠席した場合、正式に許可されていない欠席とみなされます。正式に許可されていない欠席の例として、授業の「欠課」、許可なく期間終了前に離脱すること、保護者または医師による確認なく傷病に起因する欠席、授業日中の必須活動の欠課、予約なしでの学部主任への面会のために待機した時間、傷病以外の理由で学校の保健室を訪れたばあい、家族/個人的な用事や家族旅行などが含まれます。また、許可されていない団体での欠席も正式に許可されていないとみなされます。欠席が正式に許可されていないとみなされた場合、課題やテストの追試等が許可されません。

計画的な欠席/家族旅行

家族旅行は、正式に許可されていない欠席とみなされます。家族旅行の計画は、フライト スケジュールも含め、生徒の学校のスケジュールを妨げないように行ってください。正式に許可されていない欠席に対する補講等を行われません。授業期間中に旅行する生徒は、講師および生徒間で合意したとおり、課題、テスト、クイズ、およびプロジェクトをすべて完了する責任を負います。

期末試験中の旅行申請は、正式に許可されていない欠席とみなされます。生徒は、旅行の計画を理由に予定された期間よりも前に期末試験を受けたり、追試を受けることはできません。

継続的な欠席

Mid-Pacific では、単位の取得に 90% 以上の授業セッションへの出席を求めています。正式に許可されていない欠席が多い場合、および正式に許可されない遅刻については、生徒の今後の活躍を支援するため、生徒および保護者との連携を目的として学部主任に通知します。

傷病により継続して欠席する場合は、医師の診断書が必要です。欠席は、学期当たり 10 授業日または個別クラス期間を超えず、年間 12 授業日または個別クラス期間を超えることはできません（正式に許可/許可されていないもの）。欠席日数がこの日数を超過した場合は、次のようなコンセクエンス（結果）が考えられますが、これには限定されません: 評点の低下、単位の喪失、登校に関する誓約書、および/または不登校による放校。この制限に達した場合、または近づいた場合は、学部主任に通知します。また、欠席理由に対応したり、生徒のための追加支援の可能性または適合性に関する家族会議をお願いすることになります。学年主任は、学校当局との協議のうえ、最終決定を下します。

補講等

保護者/後見人/生徒は、myPueo にログインすることで、宿題・課題を取得できます。正式な許可を受けて欠席した生徒は、対応できなかった試験、テスト、およびクイズの追試が許可されます。正式に許可される欠席期間中のすべての課題（宿題やプロジェクト）は、罰則なしで採点されます。

生徒の学部主任は、生徒の欠席状況を判断して教師に通知するとともに、期日が超過した未提出の宿題、試験、および課題を調整するための支援を提供します。すべての生徒は、正式に許可された欠席または傷病後、出席当日にすべての課題を提出する必要があります。生徒は、本校から正式に許可される欠席あたり、1 授業日の延期が認められます。生徒は、補講等の必要性を調整するため、教師および学部主任と積極的にやり取りすることが推奨されます。

ヘルス センターに滞在したり、何らかの理由でクラスから離れることが許可された間に期限を迎えた作業については、帰宅した場合、または学校へ戻らなかった場合を除き、授業日の終了時に期限となります。

正式な許可なく欠席した生徒は、対応できなかったクイズやテストの追試が許可されません。また、正式に許可されていない欠席中の課題は考慮されません。正式に許可されていない欠席中に計画されたプレゼンテーションは、課題割り当て時に定められる成績評価方針の対象となります。

復学許可証

生徒は、復帰時に、Damon Hall または Middle School Office で手続きを行う必要があります。生徒は、教師に提示するための復学許可証を取得しなければなりません。

外出許可証

生徒は、授業日は校内に留まらなければなりません。授業日に校内を離れる場合、生徒は、Damon Hall/Middle School Office または保健室を経由して外出するか、外出許可証を取得する必要があります。授業日に校内を出る場合、生徒は、保護者/後見人の許可と、学部主任、学校の保険担当者、または学校当局の承認が必要です。校内を離れる場合は、警備員に外出許可証を提示する必要があります。生徒は、校外の駐車場や校内の生徒用駐車場に行くために校内を離れることはできません。

サービスおよびリソース

ヘルス センター

ヘルス センターは、Atherton クラスルーム ビルディングの下端に位置し、生徒/教員/スタッフが利用できます。利用可能時間:

月曜日～金曜日
7:30 a.m. - 3:30 p.m.
電話:973-5120

生徒が授業中に具合が悪くなったりけがをした場合、ヘルス センターを訪問するための許可証（グリーン）を取得する必要があります。授業の間の休憩時間中にヘルス センターに行く必要がある場合は、まず、次のクラスへ行ってその日に期日となっているすべての作業を提出し、教師から許可証を受け取ってヘルス センターを訪問します。授業に戻れるようであれば、看護師から許可証（ピンク）を受け取ってクラスに戻ります。クラスに戻らずに帰宅しなければならない場合は、生徒を迎えに来るように保護者/後見人の方に通知いたします。看護師から通知を受けてから 1 時間以内に保護者または指定人にお迎えに来ていただく必要があります。生徒が自分で帰宅する場合、校内を離れ帰宅する前に、保護者/後見人からの許可が必要です。看護師が、学校から帰宅するための許可証（ブルー）を提供します。

ヘルス センターに滞在している間に期限を迎えた作業については、帰宅した場合を除き、授業日の終了時に期限となります。生徒が緊急以外の理由で保健室に行く場合は（傷の手当て、着替えなど）、自由時間、昼食、またはホームルーム中に行ってください。

発熱時（100.0 F 口）は、熱が下がって 24 時間待機してから登校させないでください。この場合、登校前に解熱剤（アセトアミノフェン、イブプロフェン）を用いない状態で 24 時間平熱でなければなりません。熱を下げるための薬は病気の感染源を低減させるわけではありません。したがって、解熱剤を用いて登校させることは許容されません。また、お迎えをお願いする場合は、1 時間以内にヘルス ルームにお迎えに来られる

ようお願いいたします。特に、生徒が発熱した場合は、これが重要です。この方針へのご協力に感謝いたします。

生徒は、保護および安全性確保のため、授業日中に使用する処方薬をヘルス センターに届ける必要があります。医薬品は、保護者または医師の書面による指示書を添え、元の投薬容器に入れておく必要があります。投薬法の変更については、できる限り早急に看護師に伝達してください。生徒は医薬品を共有してはなりません。

生徒の傷病に関連する主要な医療費（救急車、緊急処置室等）の責は保護者に帰します。すべての生徒は、自身の医療保険に加入する必要があります。

お子様が事故にあった場合、ギブスを使用している場合、松葉杖を使用している場合、あるいは慢性疾患が進行した、新たな病状が生じた、あるいは学校活動が制限される伝染病などの場合は、ヘルス センターにご連絡ください。

緊急情報

緊急時対応計画

Mid-Pacific の最優先事項は、生徒の健康と快適な生活です。教職員およびスタッフは、生徒の安全性と健全性を確保するためのあらゆる取り組みを行います。

- 保護者のプロフィールを myPueo で更新し、Mid-Pacific に最新の連絡先情報を確実にお伝えください。
- お子様、ご家族、およびご友人の緊急時対応を計画してください（また、定期的に見直してください）。また、これは、ご家庭や自動車内の防災・緊急対策用品を確認する良い機会となります。誰がどこにいるのか、また緊急時にはどのような対応をするのかをご家族全員が理解しておけば、混乱がはるかに減り、前向きな結果が得られる可能性がはるかに高くなります。家族がどこにいるかを知っておくだけで、ストレスがなくなります。潜在的に危険な状況かで、ひとつ心配事がなくなるのです。生徒やスタッフも同様で、同じ場所にとどまることは、不明な状況下に慌てて入っていくよりもはるかに優れた選択肢です。
- Mid-Pacific の生徒は、お迎えが安全であるとみなされるまで、安全が確保された場所にいるということをご理解ください。真の緊急状況では、電話線が損害を受けたり混線することがあります。高速道路が混雑したり、信号が稼働しなくなるかもしれません。

Mid-Pacific Safety Committee（安全委員会）では、これらの課題に対応するための通信計画を開発しています：

1. 最新情報については、www.midpac.edu または myPueo をご覧ください。
2. 本校が発信する緊急電話および/またはテキスト メッセージを確認してください。ご家庭の最新の緊急連絡先番号が本校に伝わっていることを確認してください。
3. レポートや発表については、下記にリストする主要なラジオ局を聞いていただくか、地域の TV ニュース プログラムをご覧ください。緊急自体発生時は、道路の混雑や電話回線は役立ちません！

<u>ラジオ</u>	<u>TV</u>
KSSK (AM 590/FM 92.3)	KHON (Channel 2)
KCCN (FM100)	KGMB (Channel 9)
KINE (FM 105)	KITV (Channel 4)
KHVH (AM 830)	KHNL (Channel 8)
KRTR (FM 96)	
KUMU (FM 94.7)	

服装規定

生徒が Mid-Pacific に入学するまでに、保護者および生徒の両方が、本校の服装規定基準に合意し了承する必要があります。清潔であること、慎み深くあること、および品位を持つことが、外見の判定における最低基準です。Mid-Pacific に通学する生徒は、学習への意欲や精神を反映し、学術的、個人的、および社会的成長を促すような服装が必要です。生徒は、適切な制限下で生活（成人の生活や、事実上すべての作業場や職場と同じように）するための学習の一環として、本校の服装規定を遵守する必要があります。

MIDDLE SCHOOL:

特別な指示のない限り、校内にいるときおよび郊外での学校活動時は、常に下記の服装規定に従ってください:

1. 靴 - 本校では生徒の安全を最重要事項としているため、生徒は、足全体を覆う靴を着用してください。
2. トップス - Mid-Pacific ロゴ入りのポロシャツ、および花模様のアロハ シャツは、Lands' End (www.landsend.com) で購入できます。
3. ボトムス - 単色で、太ももの中央より短くてはなりません。ほつれのある衣服は禁止されています。運動用半ズボン、ボードショーツ、スウェット パンツ、レギングス/ジェギングス、またはタイツは許可されません。
4. 髪型 - すべての生徒は、さっぱりとした保守的なヘアスタイルを維持する必要があります。集中を欠くようなものは許可されません。不自然なヘア カラー（紫、緑、青など）は許可されません。

5. 髭 - 男子生徒は髭を清潔に剃る必要があります。
6. ボディ ピアスや入れ墨は許可されません。

ケガをした場合など、何らかの理由で服装規定を遵守できない生徒は、学部主任から許可証を取得するものとします。服装規定を遵守できない生徒については、学部主任に通知します。

高校:

生徒の服装は、下記の基準を満たす必要があります:

1. シャツ - 生徒は、襟付きのシャツを着用する必要があります。半袖、長袖が許可されます。一例には、アロハシャツ、ポロシャツ、およびワイシャツがあります。シャツのボタンを一部外したり、服装規定に適合しないトップスの上にジャケットとして着用してはなりません。すべてのスタイルのシャツにおいて、ショート/タイト/薄手/シースル/クロップト/改造シャツは禁止されています。シャツをウエストで結んではなりません。腹部を見せるような衣服、袖なしシャツ、ローカット ドレス又はシャツ、細い肩紐、およびタンクトップは禁止されています。ただし、上記の仕様に適合する襟なしの正装は許可されます。T シャツは、「School Pride Fridays」(下記を参照)または管理当局から事前承認がある場合にのみ着用できます。
2. パンツ、スカート、ショートパンツ - すべてのパンツ、スカート、ショートパンツ、ジーンズ、およびカプリパンツは、自然なウエストライン(ローカット等は許可されない)で、自然な装着性(タイトすぎたりダブダブすぎない)ものでなければなりません。ショートパンツ、スカート、スコート、およびドレスは、太ももの中央より短くてはなりません。擦り切れた衣服、タイトスカート、穴の開いた衣服、ダブダブまたはサイズの大きいパンツまたはスカート、またはスポーツウェアは禁止されています。禁止項目の例には、ボードショーツ、運動用半ズボン、ストレッチ/バイクショーツ、スウェットパンツ、ストレッチパンツ、ヨガパンツ、および「ジョギング」パンツが含まれます。レギングスは、ショーツまたはスカートなどの服装規定で許可された衣服の下にのみ着用できます。
3. 靴 - スニーカー、ランニングシューズ、運動靴、または足全体を覆う靴が必要です。スリッパ、サンダルは許可されません。靴のかかとを踏みつぶして履くスタイルも許可されません。
4. スリッパ着用許可証: 医療的な理由でスリッパ着用許可証を申請する生徒は、学部主任から 8:10 a.m. よりも前にスリッパ着用許可(メモ)を取得する必要があります。8:10 a.m. を過ぎた場合は、正式に許可されていないものとみなされ、デメリット(罰点)の発行につながります。靴を忘れた、どこかへおいてしまった、修理していないあるいは壊れた、汚れているまたは濡れているなどの理由は、正式に許可されていないものとみなされます。上記の

理由のような事態が発生した場合に備え、替えの靴を購入してロッカーに入れておくことをお勧めします。

5. ヘアスタイル - すべての生徒は、さっぱりとした保守的なヘアスタイルを維持する必要があります。極端なヘアスタイルは禁止されています。下記が含まれますが、これには限定されません:モヒカン、テール、裾の長いうなじ、トラックス、模様または部分的に剃りあげたデザイン、ならびに自然な髪の色を超えたヘアカラー。
6. 髭 - 清潔に手入れのなされた口ひげは許可されますが、それ以外の場合、男子生徒は髭を清潔に剃る必要があります(つまり、顎髭は禁止されています)。
7. ヘッドギア - つば付き帽子、キャップ、またはバイザーを野外で着用しても構いませんが、建物内では脱ぐ必要があります。ギャングやギャング活動に関連するバンダナやその他のシンボル/衣服は着用したり誇示することはできません。
8. 宝飾品類 - すべての装飾品類は、学校という場に適した品位のあるものでなければなりません。注意をそらしたりけばけばしいものは着用できません。鼻、唇、舌、および眉毛のボディピアス(透明なものを含む)は許可されません。イヤージェージおよびイヤースパイクは許可されません。
9. 入れ墨 - 目に触れる場所への入れ墨は最小限にします。不適切なメッセージが含まれていてはなりません。
10. その他 - パジャマ、バスローブ、あるいは下着を外衣として着用するなど、学校という場にふさわしくない衣服/着用方法は禁止されています。

この服装規定は、校内にいるときは常に有効であり、適用されます。具体的には、生徒が学校に到着してから校内を離れるまでを指します(スポーツ、体育の授業、または M PSA 活動への参加時を除く)。ケガをした場合など、何らかの理由で服装規定を遵守できない生徒は、学年主任から許可証を取得するものとします。指定された期間は、常に許可証を携帯してください。Mid-Pacific の服装規定に従わない生徒は、デメリット(罰点)を受けます。デメリット(罰点)は、学年度を通じて累積されます:最初の違反(3)デメリット、2回目の違反(4)デメリットなど。服装規定の遵守違反を繰り返した場合は、規定無視とみなし、サタディスクールや停学の対象となります。

SCHOOL PRIDE FRIDAYS - 生徒は、毎週金曜日、Mid-Pacific が主催するクラブ、クラス、またはスポーツ チームの T シャツを着用するように促されます。T シャツには、Mid-Pacific ロゴが取り付けられている必要があります、一切の変更は許可されていません。その授業週の最終日が金曜日でない場合は、標準の服装規定が有効となります。

倫理規定

MID-PACIFIC 倫理規定

Mid-Pacific の生徒として、本校への誠意および誠実性を持つことを確約します。学校または他者の所有物に対する虚言、不正行為、窃盗、または乱用を行わず、また他社のそのような行為を見逃したり許容いたしません。したがって、私は、倫理規定の違反を報告する義務を負うことを理解しています。これにおいて、私は、私の言動において、相互尊重、信頼、および公平性の意識を生み出すことを願っています。私は、常に、この学術的コミュニティが構築されている高潔性を守るために取り組みます。

生徒の倫理規定

私は、この試験（論文またはプロジェクトなど）を支援したり支援を受けないことを誓います。

倫理規定で具体化されているのは、当コミュニティのすべてのメンバーが、グッド シチズンシップであり続け、学術的誠実性を慣習とするという期待です。Mid-Pacific の生徒は、カンニングや盗用を行ってはなりません。

カンニングや盗用

Mid-Pacific のモットーは、「The Honor of My School is Mine」と定められています。この概念で具体化されているのは、下記に概要を示す通り、当コミュニティのすべてのメンバーが、グッド シチズンシップであり続け、学術的誠実性を慣習とするという期待です：

「カンニング」とは、学業内容を不正に作成することや、配布することです。これには、試験中に回答を写したり共有すること、試験手順に違反したり緩和させること、ほかの誰か（家族を含む）が作成した作業を提出すること、またはその他あらゆる不正行為が含まれます。これは、生徒本人の利益のためであっても、その行為によるメリットを得るためであっても同じです。また、これには、生徒が、このような行為を理解していながら作業を手影射したり、支援することも含まれます。

「盗用」は、その情報源を明確に周知させずに、他者のアイデアや言葉を使用することとして定義されています。例：誰かの作業を一字一句コピー、言い換え、アイデアを借りて他の言葉にするなどが含まれます。また、盗用の例として、インターネットで見つけた資料をコピーして貼り付けることもよくあります。盗用を避けるため、下記が使用されたときは、常に帰属を表示する必要があります：

- 別の人物のアイデア、意見、または理論、
- データ、統計、グラフ、図など、一般的な知識ではないあらゆる情報の一部、
- 他者が実際に話した、あるいは記述した言葉の引用元、または
- 他者が実際に話した、あるいは記述した言葉の言い換え。

本校は、盗用および学業の偽証を敬意および誠実性への違反とみなします。生徒は、自身の業績を自身で生み出す責任を負います。何らかの支援を受ける場合は、書面で周知しなければなりません。盗用は、不誠実性の深刻な形態であり、懲戒処分の対象となります。

カンニングが疑われたり確認された場合は、教師が学部主任と相談し、学術的違反の証拠を見直し、適切な行動方針を決定します。カンニングと判断された場合、教師は、管理当局との相談の上、生徒の評価への影響に関する決定を行います。教師は、学術的不正について保護者に通知し、以降の懲戒処分に向けその旨を学部主任に報告します。

初回のカンニングまたは盗用の違反について、生徒はゼロ点を受けとります。懲戒処分については、学部主任が取扱います。デメリットやサタディスクール、停学、または除籍が含まれますがこれには限定されません。

学業

Mid-Pacific カレッジ プレパラトリー スクールです。したがって、各生徒は、知識的、論理的、および肉体的成長の機会に最大限に取り組み、そのメリットを活用することが期待されます。評点は、生徒が自身の成長を測り、各自の能力に自信を得るためのものです。また、評点は、保護者、教師、大学、従業員に対し、Mid-Pacific の生徒の総合的評価データを提供します。

評価の矛盾

生徒が 1 日で 3 つ以上の主要評価に参加するようにスケジューリングされている場合は、生徒からの依頼によりそのうちのひとつを再スケジューリングすることができます。生徒は、事前に学部主任に評価スケジュールを通知し、教師およびその主任に適時依頼を行う責任を負います。主要評価のスケジュールについては、myPueo カレンダーを確認してください。

成績表

評点は、各クォーター学期の完了時に発行され、NetClassroom に記載されます。成績表は、各学期の終了時に保護者および/または後見人に郵送されます。

進捗状況報告

NetClassroom に掲載されている教師の進捗状況報告はすべて生の文章です。また、「C-」以下の成績となった生徒については、各クォーター学期で 2 回の間接報告が発行されます。「C-」以下の成績となった生徒は、指導時間内に教師に面会し、追加支援を受ける必要があります。

MIDDLE SCHOOL:

評価スケール

高校生コースの例外を除き、中学生では、2種類の評価スケールを使用します。累積評点 (EE/ME/AE) は、GPA には含まれません。

A	94-100%	C	72-76%
A-	90-93%	C-	68-71%
B+	87-89%	D+	65-67%
B	83-86%	D	62-64%
B-	80-82%	D-	58-61%
C+	77-79%	F	less than 58%

累積評点	EE	Exceeds Expectations (期待される到達度を超えている)
	ME	Meets Expectations (期待される到達度を満たしている)
	AE	Approaching Expectations (期待される到達度に近づいている)

HIGH SCHOOL:

成績平均点

各生徒の成績平均点 (GPA) は、下記のスケールを使用して決定されます:

*A+	= 4.333 points	C	= 2.000 points
A	= 4.000 points	C-	= 1.667 points
A-	= 3.667 points	D+	= 1.333 points
B+	= 3.333 points	D	= 1.000 points
B	= 3.000 points	D-	= 0.667 points
B-	= 2.667 points	F	= 0.000 points
C+	= 2.333 points		

*高校生コースのみ。

GPA の計算には、すべてのコースで取得したポイントが同等に累積計算されます。GPA は、各コースで取得したポイントを加算し、コース数で除算して算出されます。

Mid-Pacific では、ほかの二次的機関で取得したコースについては、管理当局の承認のうえ受け入れることができます。ただし、これらのコースの評点は、生徒の累積成績平均点 (CGPA) の算出には使用されません。

アドバンスト プレースメント (AP: 飛び級)/国際バカロレア資格 (IB)

アドバンスト プレースメント (AP: 飛び級) および/または国際バカロレア資格 (IB) コースに参加する生徒は、これらのクラスの難易度を反映し、成績算出時の評点が高くなります。たとえば、「A」評価は、5.000 と同じ、「B」が 4.000 と同じであるなど。通常の評点スケールでは、「A」が 4.000、「B」が 3.000 などになります。これらの高評点相当が GPA およびクラス ランクの計算と、成績優秀者および校長表彰を受ける学生の決定に使用されます。AP、IB、または優等過程で「D」を受け取った生徒は、追加ポイントを受け取りません。

AP または IB コースで「C」以下で成績意を取得するには、教師、学部主任、または IB コーディネーターとの相談の上、その生徒がその強化の通常のセクションに移動する必要があります。

累積成績平均点

生徒の累積成績平均点 (CGPA) は、9~12 年生の各学期について計算されます。サマースクールで行われる適格な高校生コースも CGPA に算入されます。(CGPA は、すべてのコースで取得した成績のポイントをコース取得数で除算して決定します)。Mid-Pacific の 7 学年および 8 学年で完了し、Mid-Pacific の卒業評点を満たすもの (初級および中級外国語、代数、幾何など) は、9~12 学年の生徒の CGPA に含まれ、生徒の成績証明書に記載されます。

第 1 学期後に年間コースを取り消した場合は、第 1 学期の累積成績がそのまま CGPA に含まれます。

履修単位

Mid-Pacific では、生徒が Mid-Pacific から合格成績として取得したコースに対し、履修単位を付与します。「C-」以下の評価を受けた生徒は、そのコースをもう一度履修するように教師から推薦されることがあります。一般的に、継続的なコース (数学や外国語など) で「C-」未満の評価を受けた生徒は、補修やその他の是正作業なしに次のコースを受講する許可を得ることができません。生徒は、多くの大学が、「C-」以下の評価を許容しない旨を助言されます。

学年度中に中断した年間コースについては、単位が付与されません。転校生の場合は、学部主任の推薦を受け、校長による承認を得られ、また Mid-Pacific で同等のコースが提供されている場合にのみ、他校での履修単位が卒業単位として認められます。

年間コースの単位は、両学期の業績に基づきます。年間コースのうちいずれかの学期で不合格となった生徒は、両学期の平均パーセンテージが 60% 以上となった場合にのみ単位が与えられます。

夏季期間でのコースの取得やオンライン コースによる単位の取得やより高度なクラスを望む生徒は、学部主任による事前承認が必要です。コースが継続的な学部（数学や外国語など）で、Mid-Pacific 以外の学校で完了した夏季授業の結果としてより高度なクラスを望む生徒は、通常、次の各年度でより高いクラスを受けるには、各部試験に功績を収める必要があります。

最小履修単位数

1. 9 年生および 10 年生は、各学期で最小 6 つの評価対象コースを履修する必要があります。
2. 11 年生および 12 年生は、各学期で最小 5 つの評価対象コースを履修し、4 つの主要教育コースを含める必要があります（言語世界言語、外国語、社会科、科学、数学、および技術）。

コースの選択

コースの選択および登録においては、学部主任および教師の助言を求め、選択内容について保護者と話し合うものとします。コースのいくつかには、研修、資料、および/または試験手数料が必要になるものがあります。

多くの場合、生徒のコース選択の第一希望を優先します。ただし、スケジュールが合わなかったり選択したクラスの参加者数が少ない場合は、別の選択クラスに配置されます。登録プロセスで行われたコース選択が最終決定になります。

スケジュール変更

スケジュールの変更は、登録中に行われたコース選択が最終決定であるという通例への例外とみなされます。下記の条件下で例外が認められることがあります：

1. スケジュールリング上の矛盾が生じた。
2. サマースクール コースを履修した。
3. 変更内容が学部主任およびまたは管理当局により推薦されている。
4. 最小履修単位数を満たしていない。

コース変更希望のうち、教師や期間の優先、コースへの興味の低下などの理由は、スケジュール変更を開始する十分な原因とはみなされません。

- 生徒は、現学期の 10 授業日以内にコースを追加することができます。
- 生徒は、現学期の 10 授業日以内にコースを中断できます（この場合は、生徒の成績証明書にはその旨が記載されません）。最小履修単位数要件が適用されます。
- 10 授業日以降にコースを中断した場合は、コース取り消しとみなされます。成績証明書には「WD」と記載されますが、コース取り消し時のコースの成績は提示

されません。第 1 学期後に年間コースを取り消した場合は、第 1 学期の成績がそのまま残され、生徒の CGPA（累積成績平均点）に含まれます。

いずれの生徒も、コースの現学期の 11 週目以降はコースを取り消すことはできません。最小履修単位数要件が適用されます。

場合によっては、学部主任がコースの評価ステータスを「Audito（監査）」に変更することがあります。この場合でも、生徒はすべての課題を完了する必要がありますが、成績や単位を受けとることはありません。生徒が監査ステータスのコースに配置された場合は、コースの期間中は、文書での成績を受け取れるコースに戻ることができない場合があります。この方針は、学期および年間コースの両方に適用されます（つまり、コースが第 1 学期中に監査基準で取得されている場合は、年間コースの第 2 学期の文書での成績を受け取ることができない）。

標準テスト

Mid-Pacific では、適切な学年レベルでの各種標準テスト プログラムを使用して本校の生徒の成長を評価し、大学入学試験に向けた練習を行います。

MIDDLE SCHOOL:

OLSAT Achievement Test は、毎年春に実施されます。欠課は、カリキュラム開発と、お子様の長所や課題分野の評価に使用します。テスト結果は、ご家族宛てでご自宅に郵送します。

HIGH SCHOOL:

高校 2 年生および 3 年生（訳者注：日本の 高 1/高 2 の学年に相当）は、全員が 9 つに Mid-Pacific で PSAT を受験する必要があります。これは、生徒 SAT に向けた準備をするための支援となります。Mid-Pacific では、すべての生徒 SAT および ACT を 11 年生/12 年生中に受験することを推奨しているため、生徒が大学入学試験触れ、慣れることを目的としています。Mid-Pacific が生徒の登録と、PSAT 試験の支払いを行います。PSAT 以外は、生徒自身で登録および支払いを行う必要があります。これには、SAT、ACT、および英語を母国語としない生徒のための TOEFL などが含まれます。これらの結果は、生徒の高校成績証明書には記載されません。

追加情報については、www.collegeboard.com/student/testing/psat/about.htmlをご覧ください。

大学入学試験

大学入学試験の登録および支払いは、生徒が責任をもって行います。すべての大学入学試験のためのテスト準備テキストは、College Counseling Office から入手できます。Mid-Pacific では、試験準備コースを提供します（有料）。無料の個別化したオンライン試験準備は、Khan Academy から利用できます。Mid-Pacific のスクール コードは 120075 です。Mid-Pacific から 65% 以上の援助を受けている生徒については、テスト手数料免除を利用できます（SAT および ACT それぞれ 2 回ずつ）。詳細については、生徒 から College Counseling Office に連絡してください。

大学では、SAT または ACT を受け入れており、入学許可プロセスでは最高の試験結果を使用します。学校は、生徒の最高スコアまたは複数の設定から最高の選択肢をとった「スーパー スコア」のいずれかを受け入れます。したがって、本校では、すべての生徒に対し、11 年生の第 2 学期に少なくとも両方のテストを 1 度は受験し、12 年生の第 1 学期中にもう一度受験することを推奨しています。

SAT - SAT Reasoning Tests は、生徒が大学で成功を収めるために必要不可欠な思考能力の測定基準です。この試験は、重要な読解力、数学、および記述能力を測定し、多数の書面によるエッセイが含まれることがあります。

SAT 科目別試験 - 一部の（通常は最も選択的な）大学では、SAT 科目別試験の受験を必須または推奨としています。科目別試験は、1 時間で終了し、特定の科目における生徒の知識を測定する主に多項目選択式の試験です。

これらの試験は、SAT I 試験と同時に出题されるため、生徒は、各自の試験スケジュールを慎重に計画する必要があります。リスニングを伴う言語テストは、11 月のみに行われます。

ACT - ACT Assessment は、英語、数学、記述、読解、および科学理論の能力を測定します。これらの分野の試験が行われるのは、ほとんどの高校および大学プログラムにおける専攻分野が含まれているためです（『ACT registration booklet』より）。生徒は、オプションの Writing Test に登録してください。

TOEFL - TOEFL は、英語が母国語でない生徒のための追加の大学入学試験です。

これらの試験に関する詳細は、大学カウンセラーか、または下記からオンラインで取得できます：

ACT	www.act.org
Khan Academy	www.khanacademy.org
SAT	www.collegeboard.com
TOEFL	www.toefl.com

生徒のふるまい

所有物および所持品

生徒は、各自の所有物に責任を負い、他者の所有物を尊重する必要があります。Mid-Pacific では、校内に貴重品や大金を持ち込まないようお願いしています。

Mid-Pacific では、校内に持ち込んだ個人携帯品の紛失、盗難、または損害の責を負いません。生徒は、所持品および貴重品を割り当てられた各自のロッカーに安全に保管する義務を負います。

シチズンシップ

本校の理念に準拠し、Mid-Pacific は、グッド シチズンシップおよび人格を奨励し認識します。本校の生徒は、自身および学校への誇りをもたらすような行動・習性を一貫して行います。生徒は、大学、奨学金委員会、および雇用者は、生徒の人格を最も重要視しているということを認識する必要があります。シチズンシップ グレードは、本校の行動規範への生徒の遵守状況を反映します。グッド シチズンシップは、それが校内であっても校外であっても、Mid-Pacific で学び続けるための願いです。教職員および管理当局は、学校にとって不明用となるような特徴または行動を見せたいかなる生徒に対しても、放校を含め、そのコンセクエンス（結果）を課します。

すべての生徒は、それぞれのクォーター学期のシチズンシップを「A」で開始します。各クォーター学期の終了時に記録される成績は、生徒によって蓄積されたデメリット数によって決定されます。学期成績は、2 つのクォーター学期の平均が取られます。シチズンシップ グレード（生活態度等）は、成績平均点（GPA）へと平均化され、「シチズンシップ」として永続的成績証明書に反映されます。生徒は、クォーター学期あたり最大 5 つのデメリットを除外できます。デメリットについてよくわからない、あるいは忘れてしまった生徒は、定期的に学部主任に確認してください。

重大なシチズンシップ違反は、生徒の権利、活動、リーダーシップ ロール、および/または名誉の関係を脅かします。シチズンシップで少なくとも B+ 評価を取得できないジュニアおよびシニア学年の生徒は、外出許可証が取り消されることがあります。

デメリット	グレード	デメリット	グレード
0-2	A	10	C
3	A-	11-12	C-
4-5	B+	13	D+
6-7	B	14-15	D
8	B-	16-17	D-

禁止されている行為

生徒および保護者は、下記を慎重に見直してください:Mid-Pacific へ生徒が入学するという事は、生徒および保護者が本校の行動規範を受け入れ、支持することに合意したことになります。学習プロセスや安全性、他者の快適な生活や所有権を脅かす行動は許容されません。これらの基準違反は、学部主任および/または高校長へ報告され、是正措置が取られます（「一般的なコンセクエンス（結果）」を参照）。

教育のための安全で秩序のある環境の提供と全人格の育成という Mid-Pacific の目標と一貫性を保つため、特定の行為および特定の品目の所有が禁止されています。Mid-Pacific の管轄権下にあるすべての生徒に適用されるこれらの規制は、下記のとおり定義されていますが、これには限定されません（アルファベット順、重要度順ではありません）:

暴行 - 自身や他者の物理的な緊急防御に完全に必要である場合をのぞき、被害/ケガが継続するかどうかにかかわらず、押す、押しのける、殴る、たたく、あるいはその他けがを負わせるような行為を含む、中度/重大なけんかへの参加。この行為は禁止されており、即時停学につながり、退学の検討を行います。

いやがらせ - 性別、人種、宗教、ライフスタイルまたは経歴に関する好ましくないまたは望まれていない行動を性質とする言葉、身振り、またはその他の行為であり、差別のない学校環境で他者が学習、作業、または遊ぶための権利を制限、拒否、あるいは干渉するような行動。これには、個人に対して直接向けられた行為や、他者が気分を害したり不快になるような間接的な原因となる行為が含まれます（「いじめに関する方針」を参照）。

カードおよびさいころ遊び - クラス活動として承認されている場合をのぞき、校内でカードやさいころを使用するゲームやコンテストへ参加することは禁止されています。

携帯電話およびポケットベル - 授業中、集会中、チャペル、クラス ミーティング、および学校関連活動中、および図書館では、特別に許可を受けない限り、テキスト メッセージング（電話または iPad）を含む携帯電話の使用は禁止されています。これらの時間中は、電話の電源を切ってください。切らない場合は没収されます。

カンニング/盗用 - 学業内容を不正に作成することや、配布することです。これには、試験中に回答を写したり共有すること、試験手順に違反したり緩和させること、ほかの誰か（家族を含む）が作成した作業を提出すること、またはその他あらゆる不正行為が含まれます。これは、生徒本人の利益のためであっても、その行為によるメリットを得るためであっても同じです。また、これには、生徒が、

このような行為を理解していながら作業を手影響したり、支援することも含まれます。「盗用」は、その情報源を明確に周知させずに、他社のアイデアや言葉を使用することとして定義されています（『Academic Honesty Policy』を参照）。

コンピュータの破壊行為 - 不正なプログラミングを含む、学校のコンピュータ、ソフトウェア、またはハードウェアの誤用。（p. 48-51の「利用規定」を参照）

MID-PACIFIC の生徒に似つかわしくない行為- 生徒 は、本校の名誉となる行動を取ることが期待されます。生徒は、良識や品性に反する行動、あるいは本校の評判を落とすような行動、あるいは行内外での環境において本人または他者の快適な生活や健全性を汚すような行動を禁止されています。

偽装 - 口頭または書面にかかわらず、話を作り上げたり、学校関係者を誤解させる/欺く、あるいは不正/許容されない行為を最小化/かばう目的で学校当局に情報を渡すこと。

スタッフの無視または不服従 - スタッフに対し、反抗、不服従、不作法、無礼さを伝達、表現、または暗示するような口頭および/または口頭以外での行動または身振り。これには、妥当な指示や要請に従わないなどが含まれます。

妨害 - 学習を中断させるおよび/またはクラスルーム環境を妨害するような行為。

ドラッグオヨビアルコール - いかなる形態の麻薬、アルコール飲料、ドラッグ、または関連物質を保持またはその影響下にあることは禁止されており、即時停学、退学の検討につながります。

ドラッグ用品 - パイプ、水ギゼル、またはロール用紙などを含むがこれには限定されない、ドラッグ使用を促進するいかなる品目も禁止されており、即時停学、退学の検討につながります。

エンターテイメント デバイス - イヤホンを使用した個人所有デバイス（iPods、iPads、MP3 プレイヤーなど）は、8:00 a.m. よりも前、休憩時間、スケジュールのない期間、昼食時、および 3:05 p.m. 以降のみに使用できます。また、ホームルーム担当教師の判断により、ロング ホームルーム中にも使用できます（クラス ミーティング、スピーカー、またはその他プログラム中を除く）。これらのデバイスは、教師による特段の指示がない限り、授業中は電源を切りしまっておく必要があります。チャペル中に取り出したり電源を入れてはなりません。教師、教職員、学部主任、または管理者の判断により、学習環境を妨害するとみなされた場合は、電源をオフにしてしまっておく必要があります。これらのデバイスは、紛失や置き忘れ等に関し、生徒自身のリスクを承知で学校に持ってくるものとします。

喧嘩 - 学校設備内、または学校主催下の活動を含む校内外での身体接触に関与するいざこざ。言葉やふるまいも、喧嘩の原因となることを覚えておいてください。言動により争いを扇動することは、懲戒処分につながります。

食品/飲料 - 校内では、チューインガムは許可されていません。クラス内での飲食は、特別な状況下で教師の許可がある場合にのみ許可されます。

賭け事 - 賞金に関与したり、イベントの結果自身で管理不能または影響を受ける価値が発生する可能性のある、あるいは勝利を手にするために支払いが生じる(必須か否かにかかわらず) ようなゲームやコンテストへの参加。

不法活動 - 国や地方自治体の法に違反する一切の活動。

iPad - 生徒は、iPad のオペレーティング システム (iOS) を解体、変更、あるいは一切の改ざんを行ってはなりません。Mid-Pacific プロフィールの除去は一切厳格に禁止されています。この方針に従わないと、懲戒処分につながり、Mid-Pacific 管理者が決定する期間、iPad 使用権限を失うことになります。

承認を得ずに校内を離れること - 生徒は、学部主任または活動指定担当者の許可なく、校内や学校関連活動(学校内外での)を離れることはできません(「Arriving and Leaving」を参照)。

ポイ捨て - 正しいごみ容器以外の区域または場所にごみを廃棄すること。

健康/安全性を脅かす可能性のあるその他品目 - 本校のほかの人員、および/または人員および/または所有物の安全性/健全性を脅かす可能性のある品目の保持または管理。品目には、スポーツ トレード カード、レーザー ポインター、無線稼働玩具、スケートボード、スクーター、ローラーブレード、カードおよびさいころ、ドラッグおよび/またはギャンブルの道具、アルコール/タバコ関連容器、スプレー ペイントや落書き関連用品などが含まれますが、これには限定されません。

禁止区域 - 禁止期間が常に、または一定期間であるかどうかにかかわらず、学校当局により禁止区域として指定された区域に立ち入ること。

所有物の損傷/誤用/乱用 - 目的外の行為による所有物の損傷/誤用/乱用。

公共の場所での行為の表現 - 過剰な身体的接触。

セクシャル ハラスメント - セクシャル ハラスメントは、別の生徒やスタッフメンバーに対するあらゆるタイプの性的な誘いかけ、性的行為の依頼、および嫌がらせとなる口頭、視覚的、または性的本質を持つ身体的行動であり、威嚇、敵意、屈辱的、または性的に不快な環境を生じさせます(「セクシャル ハラスメントに関する方針」を参照)。

窃盗 - 窃盗、偽装、または威嚇が目的であるか否かにかかわらず、他者の所有物を許可なく取得および/または保持/使用すること。また、盗難品であることが分かっているまたは合理的にわかっているはずの所有物の保持/使用も含まれます。

恐喝 - 恐怖、損傷、または障害を与えることを目的とした、口頭、身体的、または書面による行為。

タバコ - いかなる種類のタバコ（煙草、チュー、または電子機器を含むがこれには限定されない）保持または使用することは、停学および/または退学につながります。

下品な言葉/みだらな言葉/ののしり - 不正な言葉を使用した場合は、是正措置が取られ、懲戒処分のために報告がなされます。

公共物の破損 - その範囲や規模にかかわらず、学校所有物の故意および/または悪意のある破損行為、破壊、または改ざん。

武器 - 生徒は、学校の敷地内または学校関連活動において、自身または他者を危険にさらす可能性のあるものを保持、取扱い、受け渡し、または隠してはなりません。これらには、拳銃、ナイフ、爆発機器、プロペラ付き物体、鋭利な物体、投げられる物体、ガス、酸、または損傷や死亡の原因として指定されているその他の物体が含まれますが、これには限定されません。おもちゃの拳銃、ナイフ、または武器と解釈されるその他の玩具は許可されません。生徒は、いかなる人物または本校に対し、いかなる武器も使用する脅威を示してはなりません。この行為は禁止されており、即時停学につながり、退学の検討を行います。

Mid-Pacific は、何が禁止行為なのかの決定における単独責任を負います。

いじめに関する方針

いじめとは、ある生徒から別の多生徒に対して向けられた、歓迎されない口頭、書面、または身体的行為を意味し、下記のような影響があります：

1. 身体的、感情的、または精神的に特定の生徒を傷つける、
2. 特定の生徒の個人所有物に損害を与える、強奪する、または取得する、
3. 特定の生徒に身体的、感情的、または精神的に傷つくという当然の恐怖を与える、
4. 個人所有物が損傷または紛失するという当然の恐怖を与える、
5. 特定の生徒の教育的機会を実質的に妨害する威嚇的または敵対的環境を生み出す。

サイバーいじめには、下記の技術の悪用が含まれますが、これには限定されません：他の生徒またはスタッフへの嫌がらせ、からかい、恐喝、脅し、または威嚇。この方法には、不適切または侮蔑的な電子メール メッセージ、インスタント メッセージ、テキスト メッセージ、デジタル写真または画像の送信または掲載、ウェブサイトの記事（ブログを含む）などがあり、下記のような影響があります：

1. Physically, emotionally or mentally harming a student;
2. Placing a student in reasonable fear of physical, emotional or mental harm;
3. Placing a student in reasonable fear of damage to or loss of personal property; or
4. Creating an intimidating or hostile environment that substantially interferes with a student's educational opportunities.

他者および自信を尊重し、寛容な精神と人間としての思いやりを持つことが、Mid-Pacific における重要な価値観です。したがって、サイバーいじめを含むいじめの形態も、私たちのコミュニティに立ち入すきはありません。いじめは、ある人物が中傷的行為の対象となったときに発生します。通常は、意図的かつ反復的な中傷的行為、言葉、または脅し、ハラスメント、疎外、身体的な攻撃などのその他の行為という形態で生じます。いじめは、身体的、言葉、感情、または心理的に行われることがあります。いじめが報告された場合は、調査により、どのような違反が発生したかを判断します。Mid-Pacific は、このような行為を無くすために迅速に対処し、必要な場合は、カウンセリングから退学まで、適切な懲戒処分を課します。

セクシャル ハラスメントに関する方針

Mid-Pacific は、本学コミュニティのすべてのメンバー間における相互尊重と感受性の学習および育成に貢献する環境を提供することをお約束しています。セクシャル ハラスメントおよびこの環境を脅かすおよび/または個人の権利を脅かす一切の行為は許容されません。

セクシャル ハラスメントは不法行為であり、望まれない性的接触、誘いかけ、性的行為の圧力、節度を欠いたまたは示唆的なおよび嫌がらせとなる発言やジョーク、口頭または書面での侮辱的言動やいやがらせ、きわどい雑誌等を見せる、および/または受け取り側が不快感、屈辱を感じるあるいは受け取り側の能力に障害を与える原因となる行為、あるいは、受け取り側に威嚇、攻撃的、または敵意を生み出す環境が含まれます。歓迎されないハラスメントには、電子メール、インスタント メッセージ、テキスト、デジタル写真または画像、またはウェブサイト記事（ブログを含む）を含むがこれには限定されない、技術的ツールによる接触も含まれます。Mid-Pacific のセクシャル ハラスメントに関する方針に違反した場合は、退学を含む、懲戒処分の対象となります。

Mid-Pacific コミュニティのすべてのメンバーは、他社の権利と感性を尊重し、そのための正しい判断を行う必要があります。Mid-Pacific は、全員が、ハラスメントを受けることなく完全に本校での生活に参加できることを保証し、またその権限を履行します。

行動違反の一般的なコンセンサス（結果）およびプロセス
生徒は、自身の不正行為に説明責任を負います。

クラスルームでの不作法なふるまいは まず 教師が 対応します。 より深刻または慢性的な 不作法なふるまい は学部主任に報告されます。 生徒はセキュリティまたはスタッフ メンバーにより学部主任へ即時に送られ、 特に深刻であったり本質的に激しやすい場合はこれにあてはまります。

複数回/反復的な遵守違反

服装規定違反、行動的な不品行が繰り返された場合、重大または継続的な反抗、教職員/スタッフへの対立的、非協力的、または失礼な行動が繰り返された場合は、停学および/または退学を含む、あらゆるレベルの是正措置の対象となります。

すべての状況において、学部主任は、教職員、スタッフ、および/または管理当局との協議のうえ、不適切な行動のコンセクエンス（結果）を決定します。行動/事象の深刻度、緊急要素、生徒の以前のふるまい、および生徒の個人的特徴および状況を考慮したうえで、各生徒と事象を個別基準で同様に検証します。

コンセクエンス（結果）には下記が含まれます：

- 一般的にはカウンセリング アクティビティとして認識されているアプローチおよび戦略を含む、不良な行動/態度を変えさせて良好な属性及び能力の認識を育成するためのカウンセリングおよびガイダンス。
- 保護者/後見人ならびに事象および生徒にかかわる重要人物との会議。また、これらのセッションには、会議への積極的な参加者として生徒を含めることもできます。
- 生徒のスクール ファイルの文書、対応、および記録。
- デメリット。
- 禁止品または対立/混乱に関連する品目の没収。
- 賠償（金銭および/または現物、Mid-Pacificが決定）。
- サタディ スクール。
- 外部カウンセリング/セラピーや薬物乱用サービスなど、行動保護観察、規定の条件を伴う。
- 行動または学業に関する誓約書。
- 停学。
- 退学。
- コンセクエンス（結果）その他は、学部主任の裁量により決定されます。

コンピュータ、デジタルメディア、およびインターネット 利用規定 (AUP)

コンピュータ ネットワークおよびそのリソースの効果的な運用は、厳密な諸条件に遵守する必要のあるエンドユーザーの正しい行為に依存します。あなたに課される責任を理解できるように、これらの諸条件をここに記載します。Mid-Pacific Institute のコンピュータ設備/リソースおよびインターネットの仕様は、特権であって権利ではありません。

ユーザーがこれらの諸条件に違反した場合は、懲戒処分および/または法的措置がとられることがあります。該当する場合、法執行機関が関与することがあります。

諸条件

1. 利用規定: Mid-Pacific Institute は、本校の教育課程目標をサポートするため、物理およびワイヤレス ネットワーク上でのインターネット アクセス、Google Apps for Education (Gmail) アカウント、およびネットワーク生徒アカウントを提供します。Mid-Pacific Institute では、Children's Internet Protection Act に準拠した技術保護対策として、インターネット フィルターを採用しています。フィルターは、いかなる理由があっても、生徒またはその他の未成年が無効にすることができません。(20 U.S.C. Sec. 6777 47 U.S.C. Sec. 254). 生徒は、プロキシやその他の手段を使用してフィルターをバイパスしたり、Mid-Pacific Institute が発行する iPad 上で VPN を手動でオフにすることはできません。

独自のインターネット サービス プランを使用するデバイスを持ち込む生徒も、校内では、この方針のガイドラインおよび指示に従う必要があります。Mid-Pacific Institute のコンピュータ設備/リソース、iPad、およびインターネットの使用は、本校の教育的目標と一致していなければなりません。

生徒は、下記の資料または情報にアクセス、それらを使用、伝送、再電送、または転送してはなりません:

- Mid-Pacific Institute の教育目標に関連しないもの
- 盗用物 (明示的な合意なく他社の作業をコピーすること)
- 本校コミュニティのほかの人々を不快にする可能性のある不適切または俗悪な言語を使用するもの
- 別の人物への嫌がらせ、からかい、威嚇、脅迫、または脅しとなるもの
- 人種、色、性別、宗教、出身地、年齢、性的志向、婚姻歴、障害、ハンディキャップに関連し、別の人物またはグループへの嫌がらせ、脅し、暴力につながるような行為、嫌忌となるようなもの
- 嘘と分かっていたり、ほかの人物の評判を傷つける目的でそのような目的でそのように受け取られるようなもの

- その個人からの書面による許可なく別の個人のインターネットまたは電子通信アカウントを使用すること
- 暴力を促進したり、所有物の破壊を提唱するもの（破壊装置や武器の製造または購入に関する情報を含むがこれには限定されない）
- 画像であるか記述であるかにかかわらず、性的な感情や刺激したりヌード、セックス、または排泄物への卑猥な興味を表すような、ポルノ、わいせつ、またはそのた性的志向の資料
- 個人の利益、財政的利益、広告、商的取引、または政治的目的のあるもの
- 大量または不適切な電子メールの送信、インスタント メッセージングおよび/または別の通信手法による書き込み（スパム）
- なりすましやメール匿名転送システムを介した伝送
- 機密保持法で保護された情報を含む、自身または他者の個人情報を含むもの
- システム管理者の特別な許可なく有料サービスへアクセスすること
- 米国著作権のある資料や企業秘密により保護された資料を含むがこれには限定されない、連邦法または州法へ違反するもの

また、生徒が下記の内容をMid-Pacific Institute コンピュータやそのネットワークアカウントに保存することは禁止されています: プログラム/ソフトウェア/実行ファイル、ゲーム、および音楽/ビデオ ファイル（学校プロジェクトの一環として使用されたオリジナルの作業や A/V クリップを除く）。

2. デジタル メディア: 校内のデジタル メディアを作成または保管するデジタルメディアまたはデバイスの使用は、本校が発行したものか生徒が発行したものかにかかわらず、学術使用のみに限定されます。

カメラおよびマイク: カメラおよびマイクは、下記の目的では使用できません:

- 対象人物の事前の認識および合意なく、プライバシーが合理的によそくされる人員の写真を撮ること
- 別の人物の著作権を侵害する方法で使用する
- 別の人物へのいやがらせ、脅迫、恥辱、またはいじめとなったり、別の人物のプライバシーを侵害する目的で使用する
- 教師により付与された許可なくクラス内で使用すること

ポータブル ストレージ デバイスおよびクラウド デバイス: 情報を保管するポータブルデバイス（USB フラッシュ デバイス、外部ハード ドライブなど）およびあらゆる形態のクラウド ストレージの使用は、合法的かつ校内での使用として適切な方法に限定されます。著作権で保護された資料（音楽、アプリケーション、ビデオ等）をデバイスおよび/またはクラウド ストレージ間で移動することは違法です。生徒は、対象ファイルを Mid-Pacific Institute ネットワークへまたはネットワークから移動する前に Technology Department に確認してください。

ファイル共有:承認された学術的サイト外でのウェブ パブリッシング、FTP、電子メール サーバー、ピアツーピア ネットワーク、およびその他のファイル共有サービスの使用は禁止されています。自身の資料やファイルの公開を希望する生徒は、Technology Department の許可を得てください。個人のコンピュータや校内ネットワークを使用するその他電子デバイスが含まれますが、これには限定されません。

ゲーム: キャンパス コンピュータおよびネットワークは、学術的であると規定されていたり、教職員が推奨した場合、および Technology Department による承認を得た場合を除き、コンピュータ ゲームには使用できません。

ソフトウェア/システム:生徒は、iPad を含むキャンパス コンピュータ、電話システム、モバイルデバイスを変更しようとしたり、キャンパス システムを混乱させようとしたりはなりません。Technology Department スペシャリストによる許可がない限り、改ざん、変更、または事前にインストールされているコンピュータ アプリケーション以外のソフトウェアをインストールすることは禁止されています。キャンパス コンピュータのアプリケーションやファイルの保護や制限の改ざんまたは変更は禁止されています。

3. プライバシー: 生徒のアカウントおよび/または iPad の電子メール、インターネット使用、ファイルおよび情報は、学校内でのプライバシーが保証されていません。不適切または非合法活動に関連するまたはそれを支持するメッセージは管轄当局に報告されます。生徒のインターネット アプリケーション使用状況は、司書、教職員、またはシステム オペレーターによる定期チェックの対象となることがあります。Mid-Pacific Institute の教師および技術スタッフは、生徒のアカウントへのアクセス権を持っています。また、アカウントは、本文書で指定するガイドラインの遵守を確実にするため、定期的にチェックされます。

4. エチケット:Mid-Pacific Institute は、生徒が適切なデジタル市民として行動することを期待しています。カリキュラム、クラス ミーティング、およびホームルーム ディスカッションは、デジタル シチズンシップの育成を促進します。生徒は、コンピュータ、ネットワーク、インターネット エチケット、および本書の「Responsible Use for Digital Citizens at Mid-Pacific Institute」の項に記載する一般的に許容される規則を遵守する必要があります。

5. 代表表明の禁止:Mid-Pacific Institute コミュニティのメンバーは、個人、グループ、または団体との電子通信を行う場合は、個人として行っているということを知っておく必要があります。学部主任、スパーバイザー、校長、またはその他の管理者の特段の許可なく、あなたの見解、アイデア、疑問、あるいは行動を Mid-Pacific Institute の代表として示してはなりません。あなたの通信内容は、あなた自身を表陣するものであり、本団体ではないことを明確にしておいてください。

6. 保障: Mid-Pacific Institute は、明示的または暗示的にかかわらず、提供するサービスに関する一切の保障を行いません。Mid-Pacific Institute は、あなたが受けたいかなる被害に対しても責任を負いません。これにはデータの紛失が含まれます。Mid-Pacific Institute で取得した一切の情報は、ご自身のリスクで使用してください。Mid-Pacific Institute は、そのサービスを介して取得された情報の精度または品質における責任を一切拒否します。

7. セキュリティ: コンピュータ システム上のセキュリティは、特にシステムに多くのユーザーが関与する場合に高い優先度を持ちます。セキュリティ問題を特定できると感じたら、他者に問題を示すのではなく、Technology Department のメンバーまたは教職員/スタッフに通知してください。

また、生徒は以下を行わないものとします:

- 他人のパスワードやほかの ID を使用すること
- コンピュータまたはサーバー/ネットワーク システム、ワイヤレス ネットワーク、モバイル デバイス、アカウント、またはソフトウェアへの未承認アクセスを行うこと、あるいはその試みを行うこと
- 他のシステム ユーザーの電子通信を読む、変更する、削除する、またはコピーすること、あるいはその試みを行うこと
- キャンパス データ ポートまたはネットワーク機器へアクセスまたは接続すること
- 外部ネットワーク デバイスをキャンパス ネットワークに接続すること。ルーター、ピアツーピア サーバー、プリンター、ハブ、スイッチ、およびその他の周辺機器が含まれるがこれには限定されない。
- 本校のネットワークからコンピュータ、サーバー、プリンター、ネットワーク機器を接続解除すること

8. 公共物の汚損: 公共物の汚損は、特権の解除、学校懲戒処分、および/または規律訴訟につながります。公共物の汚損は、本校またはインターネット上のほかのユーザーのハードウェア、ソフトウェア、またはデータの損害または破壊するための疑わしい試みとして定義されています。コンピュータ ウィルス、マルウェア、アドウェア、およびスパイウェアのダウンロード、作成、またはアップロードが含まれますが、これには限定されません。行内外での一連の使用において機器が損害を受けた場合は、その使用法が不適切と判断された場合、生徒が修理または交換費用を負担する責任を負うものとします。

9. 個人技術: (ラップトップ、ゲーム機器、ネットブック、スマートフォン、モバイル デバイス、タブレット、iPad、ウェアブル コンピュータを含むがこれには限定されない): 生徒が自身で取得したデバイスを校内で使用する場合は、本方針に規定するガイドラインに準拠する必要があります。これは構内のインターネット アクセスおよび生徒が独自のサービス プランを介して使用できる任意のものに適用されます。生徒個人のデバイスを Mid-Pacific Institute の校内 Wi-Fi ネットワークに接続するには、

最初にデバイスを Technology Department に登録する必要があります。これには、Mid-Pacific Institute プロフィールを生徒所有のデバイスにインストールする場合も含まれます。Mid-Pacific Instituteは、キャンパス内またはそのネットワークへの接続中に使用された個人技術への被害に対する一切の責任を負いません。

MID-PACIFIC INSTITUTE が発行する IPAD の使用

IPAD の配布

iPad が指定の生徒に配布される前に、保護者/後見人および生徒は、本利用規定および損害賠償手数料文書に署名する必要があります。

生徒は、生徒に iPads が貸与されてからデバイスが Mid-Pacific Institute に返却されるまで、iPad を保護し安全性を守るための合理的かつ慎重な取り扱いを行うことに合意します。iPads は、その状況が発生してからできる限り早急に返却されるものとします。

iPad を保護するための『Mid-Pacific Institute iPad Case Specifications & Guidelines』に準拠してケース/カバーを使用することは生徒/ご家族の責任です。ケースなしで使用されている Mid-Pacific Institute 発行の iPad は、生徒が適切なケースを用意するまで、Mid-Pacific Institute 教職員/スタッフがお預かりします。ケースのガイドラインに関する情報は、『Mid-Pacific Institute iPad Case Specifications & Guidelines』をご覧ください（ここから取得できます：<http://midpac.edu/aup/case.pdf>）。

IPAD の返却/回収

Mid-Pacific Institute Technology department は、生徒およびご家族に対し、本校が発行する iPad の返却のお願いを事前に通知します。

学年度中に Mid-Pacific Institute から卒業、転校、離脱、または退学した生徒は、在籍の終了時に、Mid-Pacific Institute が発行した iPad およびすべてのアクセサリ一類を引き渡す必要があります。

IPAD を返却しない場合のペナルティ

Mid-Pacific Institute が発行した iPad を返却しない場合、警察署へ盗難届を提出いたします。さらに、Mid-Pacific Institute の通学を中断したときに生徒が Mid-Pacific Institute issued iPad を返却しない場合、生徒および/または保護者/後見人は、iPad およびそのアクセサリ一類の代替品または適用される費用を負担するものとし、刑事訴訟または民事責任の対象となることがあります。

MID-PACIFIC INSTITUTE が発行する IPAD の使用

Mid-Pacific の生徒は、学校活動、課題、および行事の間は、本校発行の Apple iPad を使用する必要があります。校長、学部主任または教職員メンバーの許可がない限り、学校活動、課題、および行事に個人の iPad を使用することは許可されていません。Mid-Pacific Institute は、本校 が提供する Apple iPad を生徒が活用しなかったためにクラスでの作業へ参加したり完了できなくても責任を負いません。

Mid-Pacific Institute またはその教職員、スタッフまたは管理者が、本校が発行する iPad 以外のデバイスを使用している生徒に対し支援やガイダンスを提供することは絶対にありません。

IPAD アプリの購入

Mid-Pacific Institute は、Apple App Store/iTunes Store (無料または有料)、その他のアプリ ストアまたはオンライン サービスを介して生徒が購入したアプリ、および/または購入またはダウンロードしたアプリケーション内で行われたインアプリ購入に対する一切の責任を負いません。Mid-Pacific は、保護者、後見人、および生徒に対し、Mid-Pacific iPad を保持する前に、クレジットカードを使用せずに Apple ID を作成する方法を具体的に指示します。保護者/後見人が生徒の Apple ID にクレジットカードを付随させる場合は、自身のリスクで行うものとしします。お子様にアプリの購入を許可する別の方法には、ギフト カードを使用する、お子様の代わりにアプリを購入してお子様へ贈る、ファミリー共有プランを設定するなどがあります。これらの方法は、本書の範囲外ですが、Technology Department にお気軽にご相談ください。

IPAD および機器の紛失、損傷、故障、または盗難

Mid-Pacific Institute 発行の iPad は、Apple Store やその他の修理店へ持ち込まないでください。バッテリーを含む、メーカー ハードウェア障害に起因する機器の故障は、Mid-Pacific Institute が保証します。Kawaiaha 'o Hall の一階にあるMid-Pacific Institute の Technology department に即時に報告してください。helpdesk@midpac.edu または 808-973-5062 にご連絡ください。

保護者/後見人は、画面の破損や傷、外側の損傷、ボタンの故障、動作不能などを含むがこれには限定さない、お子様が保持している Mid-Pacific Institute 発行の iPad へのすべての損害の責任を負います。これにはません。修理費用は、ケースバイケースで査定されます。修理費用が新しいデバイス購入の費用を超過する場合は、保護者/後見人がデバイスの交換費用をすべて負担するものとしします。充電器やケーブルなどの品目を紛失した場合は、実際の代替品の費用が請求されます。詳細は、iPad 『Damage Incident Fee』 スケジュールをご覧ください (ここから取得できます: <http://midpac.edu/aup/fee.pdf>)。

保護者/後見人および生徒は、iPad が生徒により保持、保管、または管理されている間に紛失または盗難された場合、本校に対し、総交換費用を支払うものとしします。

Mid-Pacific Institute 発行の iPad または生徒の責任により持ち出されたほかの機器への損傷が意図的であったり、生徒の怠慢が原因である場合、保護者/後見人は、本校に対し、機器の総交換費用を支払うものとします。さらに、本校により懲戒処分が行われることがあります。

生徒は、iPad の機能性および安全使用に影響するすべての損傷については、Kawaiiaha 'o Hall の一階にある Mid-Pacific Institute の Technology Department に即時に報告することに合意します。Email helpdesk@midpac.edu または 808-973-5062 にご連絡ください。

- iPad が破損した場合、必要な修理を判断するため、iPad を Mid-Pacific Institute の Technology Department に返却してください。
- iPad を紛失した場合は、Mid-Pacific Institute の Technology Department に即時に連絡してください。捜索を行います。
- iPad が盗難にあった場合は、その出来事を Mid-Pacific Institute の Technology Department または校長または学部主任に即時に報告してください。代替用 iPad を配布する前に、警察への届が必要になることがあります。

IPAD オペレーティング システムおよび/ハードウェアの変更、ハッキング、または改ざん

生徒は、本校発行の iPad のオペレーティング システム (iOS) またはハードウェアを解体、変更、あるいは一切の改ざんを行ってはなりません。インストールされている Mid-Pacific Institute プロファイルの除去は一切厳格に禁止されています。この方針に従わないと、懲戒処分につながり、Mid-Pacific Institute 管理者が決定する期間、iPad 使用権限を失うこととなります。

競技

運動競技適格性に関する方針

競技への参加は、学術的適格性に関する方針によって統治されます。学校対抗競技への参加は完全に自由意志ですが、スポーツ学生は、Mid-Pacific、Interscholastic League of Honolulu (ILH)、および Hawaii High School Athletic Association (HHSAA) の規則および規約に準拠する必要があります。

1. 体育会系へ所属するための資格としては、そのスポーツ学生が各成績評価期間（クォーター学期または学期）の終了時に少なくとも GPA 2.0 以上を維持しており、シチズンシップを含む 2 以上のクラスで「F」評価を受けておらず、学術的指導対象ステータスにないことが条件です（学術的指導対象の分類については P11 を参照）。不適格とみなされた生徒は、練習は参加できますが、4 習慣は試合や協議への参加は認められません。

2. その生徒が成績評価期間の終了時に不適格とみなされた場合は、現クォーター学期中は、3週間ごとに中間成績確認を受け取ります。各中間規格の終了時に、生徒の適格性ステータスが中間成績から計算された個人成績および GPA に基づき評価されます。
3. 学年主任（教師、管理者、および/または運動競技指導者との協議のうえ）は、生徒を競技に参加させるかどうかの適格性を決定します。適格性が疑わしい場合は、校長が最終決定を行います。

スポーツ学生合意書

私は、*Mid-Pacific* スポーツ チームでのポジションを獲得することにより、下記のガイドラインに合意します：

1. 私は、競技プログラムへの参加について、ファミリー ハンドブックに記載される規則を理解しています。
2. 学校対抗競技への参加は、私自身の完全な自由意志です。私は、私が、*Mid-Pacific*、*Interscholastic League of Honolulu (ILH)*、および *Hawaii High School Athletic Association (HHSAA)* の規則および規約に準拠する必要があることを理解しています。
3. 私は、*Mid-Pacific* スポーツ学生として、自分自身だけでなく、私のチームメート、コーチ、および素晴らしい *Mid-Pacific* コミュニティへの責任を負うことを認識しています。したがって、私は、常にスポーツマンシップにのっとり、学術的基準の維持に最大限取り組むこと、競技を行うために必要な意思を表すこと、また私自身の健全性を危険にさらすような活動を回避することを誓います。
4. 私は、学術的基準を維持できない場合（最低 GPA 2.0 および/または不合格 2 つ）、競技への参加が不適格となることを認識しています。
5. *Mid-Pacific* ファミリー ハンドブックの記載の通り、私は、*Mid-Pacific* 生徒が不登校の場合、生徒の参加を制限する権限を有することを理解しています。
6. 学部主任の事務所により停学となっている生徒は、停学中は活動や競技に参加することはできません。
7. 私は、スケジュールされているすべてのチーム練習と競技イベントに参加します。出席に問題が発生した場合は、事前に、コーチに個人的に相談します。私は、矛盾をヘッドコーチに事前に伝達していたとしても、もし私がすべてのチーム練習および競技イベントに参加できない場合はコンセクエンス（結果）があることを理解しています。
8. 私は、戦略およびプレイヤー セレクションの決定における最終権限を有していることを理解しています。
9. 私は、チーム ユニフォームに関する責任を負い、ユニフォームの破損、紛失、または盗難があった場合は、私の家族の費用で交換することを理解しています。

10. 私は、もし私がチームとして確立したルールを守らなかった場合は、適切な規律コンセンサス（結果）の対象となることを理解しています。懲戒処分には、シーズン、学年度、または永続的な謹慎、出場停止、チームからの除籍、または Mid-Pacific の全競技活動からの除外が含まれます。